


# 区政のここが聞きたい 一般質問と答弁 要旨

●詳細は、目黒区議会会議録または区議会ホームページの会議録検索をご覧ください。



## 区立幼稚園見直し、地域猫継続 病児保育拡大 絆を守れ

**自由民主党目黒区議団**  
おのせ 康裕 議員

**<事業仕分けの是非>**  
(1) 民主党政権の事業仕分けは好評の反面、成果や手法に問題があった。予算削減による目黒区への影響と目黒区版事業仕分け実施の可能性を問う。政府事業仕分けによる目黒区施策・作業への個別影響は？(2) 目黒区の予算削減に事業仕分け手法を採用するか。  
**区長** (1) 区事業にどの程度の負担増が生じるかは、決算段階でないと把握が困難である。(2) 仕分けには判定基準が不明確など課題もあり、慎重な研究が必要である。

**<地域猫活動推進2年の実績と展望>**  
(1) 不妊手術費用補助の実績と改善点を尋ねる。(2) 区内ボランティア団体の現状把握と連携による活動強化は？  
**区長** (1) 費用助成実績は、2年間で計342頭。当初受付期間を年2回としていたのを、通年とするなど改善した。(2) 地域猫活動は、地域の理解と協力を得て進めることが必要だ。今後も獣医師会、住民、ボランティア等の活動を支援する。


**<区立幼稚園廃園と認定子ども園>**  
(1) 区立幼稚園の廃園が議論される中、丁寧な対応で不安解消と認定子ども園の詳細を。見直し検討結果と周知方法、廃園時期を聞く。(2) 区立幼稚園廃園後、受け皿となる私立幼稚園との公私格差を

是正せよ。(3) 移行予定の認定子ども園について、説明を求める。  
**教育長** (1) 区立幼稚園5園のうち3園は認定子ども園、2園は保育園転用との基本的方向を議会に報告し、在園児の保護者等に説明会を開催した。廃園時期は議会と引き続き協議する。(3) 区が目指す認定子ども園については、具体的な検討を進め、案をまとめる予定。

**区長** (2) 補助金額など、今後とも保護者負担の公私格差解消に努めていく。  
**<病児・病後児保育の拡充>**  
(1) 待機児童ゼロと対になる病児・病後児保育の早期実現と進捗状況及び、医師会・医療機関への働きかけ、提案状況について尋ねる。(2) 設置促進で見えた課題とその対応は。

**区長** (1) 病後児保育施設は、平成26年度までに5施設20名定員とする計画で医師会へ協力を依頼し、開設意向の医療機関と調整中である。(2) 区の補助額は厳しいとの意見があり、財政状況を踏まえ運営費補助を検討していく。

**<公共住宅は借上げ・家賃補助で>**  
公共住宅(区民住宅・高齢福祉住宅)は、直轄新築ではなく、借上げ・家賃助成で。  
**区長** 住宅政策審議会の答申を踏まえ、改定する住宅マスタープランの中で、公共住宅のあり方等を明らかにする。



## ごみ・園芸士の取り組みと 子どもに魅力的な学習環境を

**民主・区民会議**  
青木 早苗 議員

**<ごみの適正分別>**  
水銀の入ったごみが清掃工場へ不正に持ち込まれたため、清掃工場の運転が停止された。不適正なごみの排出は、23区のごみ処理に深刻な事態を引き起こす。区として今後どのように取り組むのか。  
**区長** 排出ルールを守りにくい若い單身者向けに作成した啓発用パンフレットは好評だった。各自治体でごみの分別方法が異なっていることが不適正な分別につながるため、転入者へ配布するなど、今後も普及啓発等に努めていく。

**<園芸士の回収・再生>**  
目黒区は他区に先駆けて、家庭での処理に困る不用園芸土を回収、再生する「めぐろプラン土(花再彩)事業」を開始し、各方面からも注目された。家庭での再生方法の周知などを含め、今後どのように事業を展開するのか。  
**区長** 家庭での園芸土の再生方法の周知を図るとともに、より効果的な回収方法や再生園芸土の配布について検討を加えつつ事業を継続していく。

**<めぐろ学校教育プラン>**  
プランに盛り込まれた事業について、(1) 興津自然学園の英語教室「e-キャンプ」(仮称)の、基本的な狙いは何か。事業内容の検討はどこまで進んでいるか。(2) 「学力向上のための放課後学習の支援」の実施状況と、小学校への実施を聞く。  
**教育長** (1) 宿泊生活の中で、楽しみながら英会話を身に付けてもらい、区立中学校の魅力のひとつとしたい。募集方法等を検討している。(2) 中学校に学習指導員を配置し、各校年間280時間の補充学習を開始した。平成23年度は土曜日の補習教室実施を検討中、小学校への拡充は今後の課題である。

**<歯磨き運動の推進>**  
区立小・中学校の、給食後歯磨き運動の実施状況と課題について聞く。  
**教育長** 平成21年度から全小・中学校で始められた。歯磨き運動を拡充する中で、児童・生徒の口腔衛生の一層の向上に取り組んでいく。

目黒区議会ホームページでは、一般質問の模様など本会議の映像(録画)をご覧ください。公開期間は1年間です。ぜひご利用ください。



## 区立幼稚園5園すべて存続を 業者支援と区営住宅支援を


**日本共産党目黒区議団**  
岩崎 ふみひろ 議員

**<区立幼稚園の再編計画>**  
(1) ふどう、からすもり両幼稚園の廃園を撤回し、募集中止を決定するな。(2) 今後の幼児教育や保育について、区民・保護者の代表や学識経験者などを加えた検討委員会を設置せよ。(3) 私立幼稚園入園料補助を10万円に拡充するなど、保護者負担を軽減せよ。  
**教育長** (1) 見直しは平成10年から検討してきたもので、議会とも協議した課題であるため、撤回する考えはない。(2) 認定子ども園は、東京都が既に認定基準

に関する条例を制定し、目黒区も対応方針を定めているため、改めて検討委員会を設ける必要はないと考える。(3) これまでも幼児教育振興を図る観点から、入園料補助の増額等私立幼稚園在園児保護者負担の軽減に努めており、今後も引き続き努力していく。  
**<区営住宅の管理のあり方>**  
(1) 区営住宅などの管理について、居住者による自治会管理の部分、区による管理の部分という線引きを明確にせよ。(2) 上目黒1丁目新区営住宅の「第3

の避難経路」である外壁のはしごを、高齢者が多いという居住者の実態に基づき、早急に改善すべきだ。  
**区長** (1) 区営上目黒1丁目アパートの管理運営は、基本的には他の区営住宅と同様だが、他の区営住宅にない設備の費用負担については研究していく。(2) 避難の際には、内部階段やバルコニーを使用するよう居住者に周知する。外壁のはしごについては、改善方策を研究していく。  
**<緊急経済対策の継続と拡充を>**  
(1) 政府のセーフティネット5号が平成22年度いっぱいまで打ち切られたとしても、中小企業向け無利子融資を引き続き、継続するべきだ。(2) 住宅リフォーム助成制度において、環境配慮型のリフォームについては5%を超える助成にせよ。

**区長** (1) 本区の融資枠件数は、平成19年度749件から平成21年度1,493件と大きく伸びている。今後の経済状況の推移を見守りつつ、国等の経済対策等を勘案しながら、慎重に判断していく。(2) 限られた財源の中で、住宅リフォーム助成を多くの区民に利用してもらうため、助成率を引き上げる考えはない。  
**<リフト付き福祉タクシーの拡充を>**  
**区長** 現在の3台の利用状況から、直ちに拡充する必要はないと考える。車両の調達や整備は、運行を引き受けたタクシー会社の管理であるため、適切な整備等を要望していく。



## 生活保護者にも住みにくい 目黒区でよいのですか

**無所属・目黒独歩の会**  
梅原 たつろう 議員

**<生活保護世帯>**  
経済不況は国民生活を圧迫し、失業者の増大と自殺者の増加という現実となって現れてきている。生活保護率も上昇している。目黒区では生活保護受給世帯の増加率が、国・東京都より低いのは、目黒区の家賃が高いことが大きな要因だ。区長はどう認識しているか。  
**区長** 生活保護率が23区中3番目に低いのは、目黒区の住宅家賃が、住宅扶助の基準に比べ高めであるためと考える。しかし、平成21年度は、失業から生活困窮に至った方などの生活相談件数が平成19年度の1.6倍に増加し、相談内容も保護申請等が増している。生活保護制度の充実・改善や、第2のセーフティネットとしての就労・生活支援対策の充実等を国に要望していく。

**<支出されない予算>**  
財政難と言いつつ、毎年目黒区予算に計上しても支出されない予算がある。その内容と区長の認識を問う。  
**区長** 予算計上段階では、制度存続の必要性が高いと判断したが、結果として複数年にわたって要件に該当するものがなかったため、予算計上額全額が未執行となったものがある。制度の必要性等をさらに検討し、適切な予算計上を目指していく。

**<不法占拠>**  
目黒区が、不法占拠されている不動産は  
何件か。また法的整理されているか。  
**区長** 不法占拠所の総数は把握していない。不法占拠箇所では正指導を行っているものは水路等11件で、時効が成立しないよう指導等の措置をとっている。  
**<区有財産の適正管理>**  
区民の財産が一括で売却された。その中には、和田村に設置されていた天体望遠鏡が含まれていたが、錆だらけで形状を留めていなかった。これは青木区長が目黒区議会議員に在職しているときに設置されたものであり、和田村事業から撤退したのも青木区長である。(1) 天体望遠鏡の設置の効果は、どのように記録しているのか。(2) 税金で購入した物品に対する職員認識と教育について、区長はどのように考えているのか。(3) 天体望遠鏡は、大事に使えば八ヶ岳林間学園や興津健康学園でも有効に活用できたと思うがどうか。(4) 販売価格がつかなかった理由は。




## 平和の願いを世界へ 高齢者が住み続けられる目黒を実現

**公明党目黒区議団**  
石橋 ひとし 議員

**<核拡散防止条約再検討会議>**  
(1) 青木区長が要請書を提出された本会議について所見を問う。(2) 目黒区民の平和の決意を、毎年国連事務総長あてに出したらどうか。  
**区長** (1) 核兵器廃絶に向け、世界各国が行動を開始することに合意した意味は大きいと評価する。(2) 今後も平和市長会議等の取り組みに積極的に協力し、機会を捉えて目黒区民の思い等を届けていく。  
**<高齢者向け賃貸住宅>**  
(1) 住宅供給促進について、目黒区の現状と高齢者向け優良賃貸住宅補助金交付要綱が活用されていない原因を聞く。都市型軽費老人ホームの本区の進捗状況を。(2) 高齢者円滑入居賃貸住宅登録閲覧制度の運用・普及の取り組みを問う。(3) 地域で高齢者を支える仕組みの構築について、相談支援体制と生活支援サービスの現況等を問う。(4) 高齢者居住の安定確保に向けた普及活動として、啓発用小冊子を発行せよ。公有地等

の有効活用のあり方を問う。  
**区長** (1) 借上げ型の高齢福祉住宅に需要があり、補助金活用の整備実績はない。住宅マスタープラン改定にあわせ、制度を見直していく。都市型軽費老人ホームは、平成22年度に1施設を整備予定。(2) 東京都等と連携し、住まいの情報提供を進めていく。(3) 地域包括支援センターで保健福祉の総合相談支援を実施し、見守り事業など高齢者支援を充実していく。(4) 小冊子は、住宅マスタープラン改定で区の考え方をまとめた上で検討する。公有地等の有効活用は、平成23年度予定の介護保険事業計画、住宅マスタープラン改定で考え方を明確にしておく。  
**<諸問題>**  
(1) 区立幼稚園を保育園へ転用する時期、公私格差は正、私立幼稚園への障害児等の受け入れを聞く。(2) 子宮頸がんワクチンを公費助成せよ。(3) 認知行動療法の普及と目黒区医師会への協力要請について問う。(4) 介護保険制度

の啓発用DVDを作成せよ。  
**区長** (1) 時期はまだ明確にできない。公私格差は正、障害児教育の充実支援に努める。(2) 知識の普及啓発等ワクチ



## 入札制度改善で経済活性化 清掃・高齢者住宅に対策を

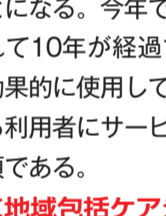
**無所属・目黒独歩の会**  
戸沢 二郎 議員

**<区の入札制度改善>**  
(1) 総合評価方式について、実績を挙げよ。(2) 発注金額80万円未満の小規模工事の簡易業者登録で、内容の公開を。(3) 発注限度額を地方自治法施行令の上限額130万円に引き上げよ。  
**区長** (1) 試行件数が少なく、分析が不十分。今後検証を深める。(2) 発注件数が多く、すぐに集約することは困難。検討していく。(3) 上限を80万円に引き上げたばかりなので、検証した上で検討課題とする。

**<清掃事業の諸問題>**  
水銀の混入で清掃工場が焼却炉を停止した。(1) 原因解明と今後の対策は。(2) 廃プラスチックを資源化回収していない隣接区は、目黒清掃工場への持ち込み制限を。(3) スプレー缶等危険物は、別途収集を。(4) ごみの減量が進み、減

炉等の計画も出される中、目黒清掃工場が2炉の計画では問題ではないか。

**<高齢者住宅対策>**  
(1) 高齢者が住み続けられる住宅提供を誘導する施策を問う。(2) 区営住宅は、居住者が高齢化しており、内部改修が必要ではないか。  
**区長** (1) 住宅審議会の審議等を踏まえ、住宅マスタープラン改定の中で明らかにする。(2) 室内の段差解消等改修について検討していく。



## 世界初となる超高齢社会を 目黒区から改革せよ!!

**自由民主党目黒区議団**  
佐藤 昇 議員

今後、日本は超高齢社会に直面することになる。今年で介護保険制度は施行されて10年が経過する。限られた財源を効果的に使用して、真に介護を必要とする利用者にサービスを提供することが必須である。  
**<地域密着型サービスの整備>**  
(1) 民間事業者に対して参加促進を進めよ。(2) 地価が高いなどの目黒区の地域特性を考慮し、区有施設や区有地を民間企業へ貸し付けてはどうか。  
**区長** (1) 一層の周知に努め、事業者の参入を促進する。(2) 施設整備計画全体の中で考える必要がある。活用できる状況が生じた場合は検討していく。  
**<介護サービス>**  
担い手である介護従事者の確保と処遇を向上せよ。  
**区長** 目黒区は、区立特別養護老人ホーム等の介護士正規職員化等を行ってきた。処遇改善の充実を東京都等へ要望し、事業者へ処遇改善を促していく。

**<特別養護老人ホーム>**  
入所待機者は約1,000人。今後の財源を踏まえ、目黒区外の安価な地域での整備についてどう考えるか。  
**区長** 目黒区外に土地を購入し、施設を整備する場合、緊急時対応等問題がある。東京都の補助金が受けられず、待機者の約8割が区内施設希望などの状況から、目黒区外での整備は困難である。

ン接種の環境整備をしていく。(3) 実施医療機関の把握に努める。(4) 効果を検証しつつ検討していく。